



かがやく浜の子

平成30年度 11月号

平成30年度重点目標 気づき 考え 行動する子 「自分から みんなで」

行事で 気づき 考え 行動する 浜の子

10月18日・19日に6年生が修学旅行を、11月7日～9日には、5年生が観音山野外学習を行いました。その中で、子供たちの「気づき 考え 行動する」姿を、たくさん発見することができました。

6年生修学旅行

①時間を意識して活動する浜の子

1日目の上野公園・東京ディズニーランド、2日目のお台場・浅草・東京スカイツリーは班活動でした。それら活動の始めと終わりの集合時刻全てに、一人も遅れることはありませんでした。これはなかなか難しいことです。一人でも遅れれば、他の友達を待たせることになります。次の活動にも支障が出ます。各目的地での活動計画をしっかりと立て、時間を意識しながら互いに声を掛け合ったからこそできたことです。



食後のテーブル

②感謝の思いを示す浜の子

左の写真は、ホテルでの食事後のテーブルです。きちんと食器が整えられています。部屋を去るときには、自分たちの使った歯ブラシやベットも整頓されていました。お礼の気持ちを表すメッセージを部屋に残した子もありました。人や物に感謝の思いを抱き、それを実践することができる姿に感心しました。



浅草で道を尋ねる

5年生観音山野外学習

③仲間と助け合い、協力して活動する浜の子

夜の真っ暗闇となる山中を、懐中電灯だけを頼りに班の仲間と歩く「ナイトウォークラリー」では、「大丈夫だよ」「気をつけて」「がんばって！」など、お互いを励まし合う姿がありました。観音山の広いフィールドを、一日中自分たちが設定したルートで巡る「冒険ラリー」では、足が痛くなるなど調子が悪くなる子もありましたが、荷物を持ってあげたり近くのポイントにいる教員に連絡したりと、助け合うことができました。一人ではとても難しい活動を、班の仲間と取り組むことによってやり遂げました。



観音山での食事



チェックポイントで

④学んだことを次に生かす浜の子

野外学習では、食事や就寝の準備や片付けなど、自分たちの生活を自分たちで行います。宿舎でのルールの指導を受けると、それを取り入れ自分たちの過ごし方を改善していくことができました。1日目より2、3日目と日を追うにつれて、生活の仕方がよくなりました。浜の子の吸収力の高さを感じました。

※

元サッカー日本代表監督ザッケローニ氏は、就任期間中に「努力によって成功は必ずしも約束されていないが、成長は必ず約束されている」という言葉を述べています。学校だより6月号でも触れましたが、行事は当日も大切ですが、準備や練習の過程で成長することの意義が大きいと考えます。修学旅行と野外教室での活動の充実が、子供たちが行事に向けて、準備してきたからこそです。10月に行われた市音楽発表会で、4年生が素敵なハーモニーを会場いっぱいに響かせることができたのも、本番での約10分間のために、その何十倍もの時間を練習に費やした成果です。

本校では、この後、11月21日に浜の子走ろう会を、12月8日に浜の子発表会を行います。走ろう会に向けて、多くの子が朝自主的に運動場を走っています。お家の方で練習している子もいるとも聞いています。浜の子発表会の準備も各学級毎着々と進めています。目的に向かって努力する全ての浜の子に金メダルをあげたい気持ちです。当日は、多くの保護者の皆さん、地域の皆さんの御来校をお待ちしています。(文責 校長：石谷)



市音楽発表会で歌う4年生



朝の自主練習